

半側空間無視改善のための 評価・リハビリテーションツール

@ ATTENTION

自動車運転再開支援のための注視点計測・評価ツール

脳卒中や視野障害によって自動車運転に困難を伴う患者さんが運転に必要な視覚情報取得・処理・認知判断を行うことが可能であるかを評価するためのツールです

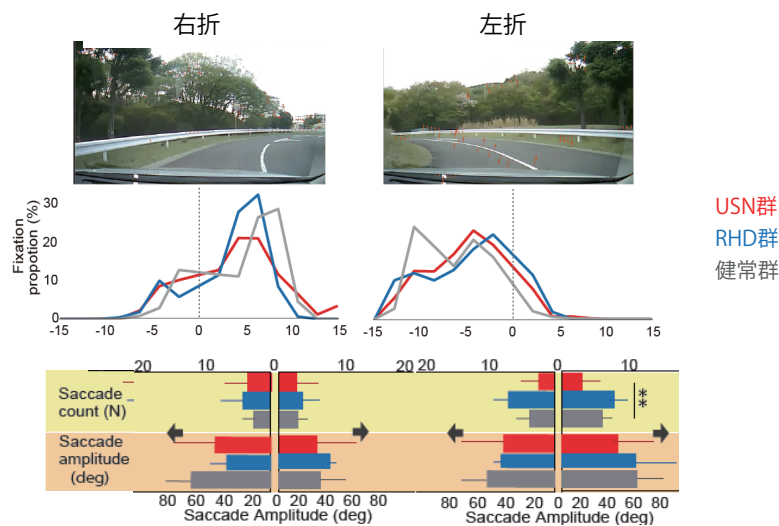
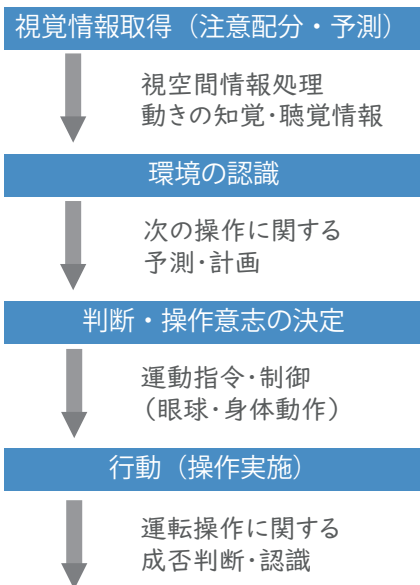


本評価ツールでは、自動車運転時の運転者視点の映像をみているときの視線および頭部の動きを計測することで、運転時に必要な視覚情報の取得、認知・判断が正確に行われているかを数値客観的に把握することが可能です。

- 周辺環境（歩行者や信号、対向車）の情報取得ができていますか？
- 次の運転行動の計画立案や予測的な視線配分ができていますか？
- 頭部と視線の協調的で円滑な動作が実現できていますか？

既存の運転シミュレーターは、運転に必要な認知・判断・動作に至るまでの一連のプロセスを含む運転技能評価を目的として実施しますが、多くの場合、運転に関わる操作自体よりも視覚情報の処理、認知の困難、判断の不正確さなどが運転可否の要因となっていることが多い

自動車運転の構成要素



障害者や高齢者で想定されるエラー

- 半側空間無視などの高次脳機能障害者→無視空間の事象の見落とし
- 半盲などの視覚障害者→視野欠損空間の見落とし・頭部偏向（代償）
- 認知・注意機能が低下している高齢者→情報取得や予測の欠落

簡単なキャリブレーション操作を行った後、5秒間毎に提示される画像／動画を見ている際の注視点を視線計測装置によって計測します。評価の対象となる患者さんは、画面を見るだけなので、机上テストの実施が困難な重度の無視・注意障害症例でも評価することができます。



株式会社クレアクト

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-13 五反田増島ビル
TEL : 03-3442-5401 info@creect.co.jp